



平成 24 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社テラプローブ  
代 表 者 代表取締役社長 渡辺 雄一郎  
(コード番号：6627)東証マザーズ  
問合せ先 執行役員 CFO 神戸 一仁  
(TEL 045-476-5711)

### 特別利益及び特別損失の計上並びに平成 24 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成 24 年 3 月期決算において、下記のとおり、特別利益及び特別損失を計上することとしましたのでお知らせいたします。

また、本件に伴い、平成 23 年 10 月 26 日に発表いたしました平成 24 年 3 月期通期業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### I. 特別利益及び特別損失の計上について

1. 当社連結子会社株式会社テラミクロスの資産評価確定に伴う負ののれんによる特別利益の計上について  
当社は、平成 23 年 10 月 1 日に株式会社テラミクロスの全株式を取得し、連結子会社といたしました。このたび、同社の資産、負債を再評価した結果、評価額が取得価額を上回ったことに伴い、負ののれんが発生したため、特別利益として 5 億 69 百万円を計上することといたしました。

#### 2. 貸倒引当金の計上による特別損失の計上について

当社の主要取引先かつ「その他の関係会社」であるエルピーダメモリ株式会社に対する債権のうち、取立不能又は取立遅延のおそれがある債権について貸倒引当金として計上する金額が確定しましたので、特別損失として 27 億 1 百万円を計上することといたしました。

#### 3. 当社九州事業所の固定資産の減損処理による特別損失の計上について

当社九州事業所では、平成 18 年の事業所開設以来、国内 IDM(半導体の回路設計から製造、販売までを手掛けるメーカー)を顧客として SoC(システム・オン・チップ)製品のウエハテストを中心にシステム LSI 事業を拡大してまいりました。現在では 70 台を超えるテスト装置を保有し、国内トップクラスの規模となっております。しかしながら、常に市況の激しい変化にさらされ、多額の投資にもかかわらず、安定的なビジネスを確保できない状況が続き、これまで赤字を計上する状況が続いております。

この間、海外を含む新規顧客の獲得により顧客数を増やし、SoC 製品から高い成長性が期待できるイメージセンサやアナログ製品など製品分野も拡大してまいりました。また、従来の顧客の繁閑に稼動を左右される形態から、より顧客とのパートナーシップを強化した安定的な稼動を確保できる形態への転換にも挑戦してまいりました。しかしながら、世界的な半導体市場の変化は早く、SoC 製品から他の製品分野へのシフトは不十分な状況にあります。このような状況から、九州事業所の将来の収益性を保守的に見積もった結果、固定資産の減損処理によって特別損失 53 億 88 百万円を計上することといたしました。これにより、現在の市場環境からは過大となっている過去の投資について清算し、新たな出発を期するものであります。

今後は、製品ごとの収益性をより精査し、採算性の低い製品については受託の可否を検討し、低稼働の設備についてはそのあり方を見直してまいります。また、新しい製品の受託にあたっては投資リスクを今まで以上に精査し、顧客との Win-Win を実現できる関係の確立を目指します。さらに、連結子会社である株式会社テラミクロスが行う WLP(ウエハレベルパッケージ)の省スペース性を武器に、成長しているスマートフォンなどのモバイル製品に搭載される半導体のウエハテストと WLP の受託に注力し、テストと WLP を一貫させたターンキーソリューションの提供による事業拡大を目指してまいります。

## II. 業績予想の修正について

### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 25,300	百万円 2,900	百万円 2,500	百万円 1,400	円 150.82
今回修正予想（B）	24,100	2,700	2,400	△5,600	△603.29
増減額（B－A）	△1,200	△200	△100	△7,000	－
増減率（％）	△4.7	△6.9	△4.0	－	－
（参考）前期実績 （平成23年3月期）	21,381	5,181	4,835	4,151	509.44

### 2. 当期の個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 19,200	百万円 2,050	百万円 1,270	円 136.82
今回修正予想（B）	19,000	2,200	△6,100	△657.15
増減額（B－A）	△200	150	△7,370	－
増減率（％）	△1.0	7.3	－	－
（参考）前期実績 （平成23年3月期）	18,144	3,874	3,801	466.45

#### 修正の理由

当社グループの平成24年度3月期の連結業績は、当連結会計年度より株式会社テラミクロスが連結子会社に加わったこと等により、売上高は過去最高となりました。しかし、営業利益及び経常利益につきましては、DRAM市場の悪化に伴い当社のテスト受託も期初の予想ほどの伸びがなかったことなどから、昨年度から当年度上期にかけて行った設備投資にともなう償却費の増加をカバーすることができず、平成23年10月26日に発表した通期予想を若干下回る状況となりました。また、当期純損益につきましては、上記「I. 特別利益及び特別損失の計上について」に記載のとおり、「株式会社テラミクロスの負ののれんによる特別利益の計上」に加え、平成24年3月15日に発表いたしました「企業立地補助金の交付による特別利益の計上」による特別利益の計上があったこと、並びに上記「貸倒引当金の計上による特別損失の計上」及び「固定資産の減損処理による特別損失の計上」による特別損失の計上により、大きく損失を計上することとなり、平成24年3月期通期業績予想を修正することといたします。

## III. 役員報酬の減額について

現在までの当社の業績を真摯に受け止め、常勤取締役及び執行役員の報酬を平成24年1月から3月まで最大20%減額しておりましたが、この減額措置を平成24年6月まで延長いたします。また、管理職の賞与についても減額を検討してまいります。

(注) 本資料における上記の予想を含む記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

以上